

河原崎家歴史資料

『神役勤方日記』(他姓座)文化十二年六月・七月 翻刻(抜粋)

【冒頭目次】

七(六カ)月廿七日

一、堤切洪水二付、御朱印御別条有無届候事、
本美豆南ノ町ノ端ヨリ北江家六軒之間切、大住村ノ堤も切ル、

【翻刻】

六月廿九日

一、左之通触書廻、式ヶ条、
一、来七日出礼之儀、洪水二付、社務中へ罷出候
儀、可為無用事、此旨可被相心得候以上、
右之通被仰出候二付、申触之候以上、

六月廿九日

藤木上総介

一、此度洪水二付、

御朱印所持之銘々、仲ヶ間年預之者より相改、
別条無之儀、水引次第当職江可申出候以上、
右之通被仰出候付、申触之候以上、

此外、御家等怪我人有之候ハ、可申出旁之触書、当職御廻り候へ共不記

(略)

七月八日

一、此度嶋田村領堤切候二付、河原崎幸馬・河原崎鐐太郎
御朱印改二行、拝見仕候处、御別条無御座候也、

七月十二日

一、此度堤切洪水二付、小河伊予方江、河原崎鐐太郎・菅人、
三人組
御朱印改二行、無御別条候、勿論拝見仕候也、

七月十三日

一、御朱印無御別条候段、御当務へ左之通届書出ス、
口上之覚

一、此度洪水二付、他姓座頂戴

御朱印相改候処、仲間一統御別条無御座候、
此段御届申上候以上、

他姓座惣代

小中村小六印

文化十二年乙亥七月

御当職

御役人中

右小中村小六印持参役人差置帰ルとの事ニ而帰ル

七月十八日

一、此度堤切洪水二付、反橋・安居橋之両橋損候二付、京都方

役人中見分有之候事、直様十九日方八月十六日迄仮橋安居
計懸ケ度旨、八幡願二付、直二聞届有之取懸り候事、